

おめでとう！トランセンダ号

フェブラリーステイクス（GI）優勝

2月20日、東京競馬場で行われた第28回フェブラリーステイクスで美宇のノースヒルズマネジメントで生産されたトランセンダ号が藤田伸二騎手を鞍上に、見事逃げ切り、優勝を飾りました。

これでトランセンダ号は昨年12月に行なわれたジャパンカップダートの優勝に続きGI2連勝という快挙を達成しました。

レースでは、道中常にマークされる厳しい展開となりましたが、直線に向くと力強く抜け出し、見事一着でゴール板を駆け抜けました。牧場で留守を預かっていた佐藤ゼネラルマネージャーもトランセンダ号が優勝した瞬間は、喜びと同時にほっとしたと語ってくれました。



トランセンダ号はこの後、3月26日にアラブ首長国連邦のドバイで行なわれる世界最高峰のレース「ドバイワールドカップ（GI）」に出走します。世界の舞台でもその超越した走りを見せてください。

研修で学び、感じたことを発表

新冠町少年国内研修交流事業報告会

2月10日、レ・コード館シアターで新冠町少年国内研修交流事業報告会が行われ、1月11日から3泊4日の行程で沖縄研修に行った小学6年生と中学1年生の20名が研修結果を発表しました。

報告会は、高校生サポーターとして子供たちのサポートをしてきた山下茜さん（静内高校1年）司会のもと行われ、子供たちが「自然・環境」「戦争・平和」「歴史・文化」のテーマごとに調べた研修内容を電子黒板を使って一人一人発表しました。

一行は、沖縄で平和記念公園や首里城、マンングロープ林などを見学して新冠と沖縄の気候や文化、歴史の違いを肌で感じ、また金武町の嘉芸小学校の子供



たちとも交流を行うなど、貴重な体験をすることができました。報告会では、現地研修の前から学んできたこと、現地研修で学んできたことを子供たち自身がまとめ、保護者の皆さんや関係者を前に、わかりやすく説明してくれました。

受賞おめでとう！ございます

駒澤弘義さん北海道産業貢献賞受賞

2月9日、札幌市で平成22年度北海道産業貢献賞表彰式が行われ、駒澤弘義さんに北海道産業貢献賞（家畜衛生等功労者）が贈られました。

駒澤さんは、昭和43年から農業共済組合の獣医師、診療所長、支所長として、軽種馬の生産性向上に尽力するとともに、馬伝染性子宮炎などの防圧の中心的役割を果たしてこられたほか、管内獣医師の育成にも貢献されてきました。また、



41年間にわたり、家畜防疫員として、地域家畜衛生の推進に多大な貢献をされ、その功績が表彰されました。

ま ち の 話 題

あれこれ

長寿祝金を贈呈

小泉イヨさん百歳

2月14日、新ひだか町介護老人保健施設まきばで、今年で百歳となられた小泉イヨさんに小竹町長より長寿祝金が贈呈されました。

小泉さんは明治44年のお生まれ。小竹町長から「いつまでも元気で過ごしてください」と声をかけられると「ありがとうございます」と元気に答えられていました。



また、小泉イヨさんのご家族も祝いに駆けつけ、イヨさんの長寿を祝いました。

昭和音楽大学

アウトリーチコンサート開催

2月25日、新冠小学校と朝日小学校で昭和音楽大学のアウトリーチコンサートが開催され、それぞれの小学校で児童たちと昭和音楽大学の皆さんが音楽を通して、交流を図りました。

このコンサートは、毎年パートナーシップコンサートのために来町している昭和音楽大学の皆さんが子供たちや地域の皆さんと交流を図るために行っているもので、今年は、新冠小学校で昭和フレンドシップ金管五重奏団の皆さんによる演奏、朝日小学校では、細川千尋ジャズ・トリオの皆さんによるジャズの演奏が行われました。



なったり、誰もが知っているトトロのメドレーなどを演奏し、児童たちを楽しませてくれました。また、朝日小学校ではジャズの演奏を初めて聞いた児童たちもその楽しさにふれ、演奏者の皆さんと交流を図りました。

認定子ども園ド・レ・ミの内覧会開催

2月27日、4月から開園する認定子ども園ド・レ・ミの内覧会が開催され、4月から子ども園に通う子供たちの保護者や関係者など300人余りが施設を見学しました。



内覧会では、職員が施設の説明をしながら案内し、保護者の皆さんも熱心に耳を傾けていました。

黒毛和牛の販売額が五億円を突破

2月16日、新冠町和牛改良生産組合（青木真一組合長）の第30回通常総会が開催され、平成22年に黒毛和種素牛・肥育牛の販売額が初めて五億円を突破したと報告されました。



青木組合長は、今後もTPPや口蹄疫など難題も多いがニーズにあった牛づくりを行いたいと挨拶しました。